

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスなないろ		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日		～ 令和 8 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 1 日		～ 令和 8 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 5 月 15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他の放課後等デイサービスの事業所をはじめ、フリースクールや学童などとも交流を行い、いろいろな子供と接する機会を提供できていると思う。	児発管が率先して働きかけ、いろいろな体験ができるように考えている。	今後は現在の利用児童たちの就労に向け、早い段階から職業体験として経験が詰めるよう、就労支援の事業所ともつながり、体験させていただく機会を設けていく予定。支援級に通っている中学生などは研修の機会などがないので、行う意味は大きく、保護者に対しても子供の将来を考える働きかけにもなると思う。
2	障がい者支援課、子家総、児相、発達支援センターなどの行政機関とも適切に情報共有し、児童に対する適切な対応が取れていると思う。	子家総などから紹介で来られる児童もいるが、契約につながった後も、それぞれの機関と連絡を取っている。変化などあった場合には支援会議をお願いするなど相談できる関係づくりに努めている。	今後も相談しやすい関係性を保ちつつ、児童生徒を長期的に支援できる体制を保っていけるようにしたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性職員が少ないことで、介助が必要な児童に対して同性介助が出来ないことがある。	利用児童・生徒は男子が多いが、対して職員は女性が多い。(現在の職員 女性4名、男性1名(非常勤))	・非常勤の職員の出勤をなるべく、介助が必要な生徒の利用日に当てる。 ・求人募集を出す。
2	現在は一つの事業所を運営しているだけなので、送迎の対応が難しかったり、希望の曜日が受け入れ定員いっぱいでお断りすることもある。	広い範囲の保護者に認知してもらえるようになったことは大変ありがたいことなので、対応できるような体制を作りたい。	・事業所を増やす。 ・他の事業所とも連携を取り、空きがあり、対応可能な事業所を紹介できるような連携体制を取れるようにしたい。
3			